



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月11日

上場会社名 東京テアトル株式会社
 コード番号 9633 URL <https://www.theatres.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 太田 和宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 松岡 毅
 四半期報告書提出予定日 2020年11月11日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3355-1010

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	5,538	36.9	983		778		809	
2020年3月期第2四半期	8,782	8.1	231		276	385.5	215	

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 858百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 223百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	106.65	
2020年3月期第2四半期	28.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	23,917	12,479	52.1	1,653.77
2020年3月期	23,984	13,547	56.5	1,767.57

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 12,452百万円 2020年3月期 13,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		10.00	10.00
2021年3月期		0.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定としております。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大による影響を合理的に算定することが困難なことから、現時点では未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	8,013,000 株	2020年3月期	8,013,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	482,947 株	2020年3月期	348,647 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	7,590,782 株	2020年3月期2Q	7,677,753 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項については、四半期決算短信【添付資料】4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年3月期第2四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日、以下「当四半期（累計）」といいます。）における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、社会経済活動が大きく制限され景気は急速に悪化いたしました。社会経済活動の再開が段階的に進められ、足元では持ち直しの動きが見られるものの、国内の新型コロナウイルス感染者数は増加の傾向にあり、感染の再拡大による景気下振れのリスクが懸念される等、依然先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当四半期（累計）の連結業績は、自治体からの要請に伴い新型コロナウイルス感染拡大防止のため事業所休業や営業時間短縮を行ったこと、主力の配給作品が公開延期となったこと、営業再開後も飲食事業の低迷が続いていることなどから、売上高5,538百万円（前年同期比36.9%減）、営業損失983百万円（前年同期は営業利益231百万円）、経常損失778百万円（前年同期は経常利益276百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失809百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益215百万円）となりました。

■連結経営成績（百万円）

	前年同期	当四半期（累計）	増減
売上高	8,782	5,538	△3,244
営業利益	231	△983	△1,215
経常利益	276	△778	△1,055
親会社株主に帰属する四半期純利益	215	△809	△1,024

セグメント別の業績概況は以下のとおりです。

なお、当社は、2020年6月12日に「映像関連事業」セグメントにおいて字幕版・吹替版の制作を行うアクシー株式会社の発行済株式90%を取得し、連結子会社といたしました。

■セグメント別外部売上高（百万円）

売上高	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	2,395	1,111	△1,283
飲食関連事業	3,309	1,664	△1,644
不動産関連事業	3,078	2,762	△315
計	8,782	5,538	△3,244

■セグメント別営業損益（百万円）

営業利益	前年同期	当四半期（累計）	増減
映像関連事業	117	△388	△505
飲食関連事業	54	△675	△729
不動産関連事業	443	459	+15
調整額	△384	△379	+4
計	231	△983	△1,215

<映像関連事業>

(映画興行事業)

8月に公開された『3年目のデビュー』がヒットいたしました。自治体からの要請に伴い全館を休館したことや、営業再開後も客席の間引き販売等、営業を一部制限したことから前年同期比で大幅な減収となりました。

当四半期末の映画館数及びスクリーン数は、前年度末と同じ9館24スクリーンです。なお、2020年10月18日に「シネ・リーブル神戸」は、4スクリーンの内1スクリーンの営業を終了いたしました。

(映画配給事業)

主力作品『それいけ！アンパンマン』が公開延期になったことや、配給した作品がいずれも厳しい結果となったことから前年同期比で大幅な減収となりました。

（ソリューション事業）

映画館の休館やイベントの開催中止、外出自粛の影響を受けてシネアドやイベントプロモーション、屋外広告等の広告受注が大幅に減少し、前年同期比で大幅な減収となりました。

以上の結果、映像関連事業の売上高は1,111百万円（前年同期比53.6%減）となり、営業損失は388百万円（前年同期は営業利益117百万円）となりました。

<飲食関連事業>**（飲食事業）**

自治体からの要請に伴い全店で休業もしくは営業時間短縮を行いました。5月上旬より感染予防措置を講じた上で順次営業を再開いたしましたが、居酒屋業態を取り巻く環境は厳しい状況が続いており、前年同期比で大幅な減収となりました。

当四半期末における飲食店の店舗数は下表のとおりです。

■飲食店の店舗数

	前年度末	当四半期末	増減
焼鳥専門店チェーン「串鳥」	44	44	0
串焼専門店「串鳥番外地」他	5	5	0
ダイニング&バー	8	8	0
飲食店 合計	57	57	0

※2020年10月16日に「アオヤマ・マルマーレ」は閉店いたしました。

以上の結果、飲食関連事業の売上高は1,664百万円（前年同期比49.7%減）となり、営業損失は675百万円（前年同期は営業利益54百万円）となりました。

<不動産関連事業>**（不動産賃貸事業）**

賃貸ビルにおいて高稼働を維持し、前年同期並みの売上高となりました。

（中古マンション再生販売事業）

第1四半期中古マンションの販売件数大幅減から、第2四半期は増加に転じたものの、低価格帯物件の販売が中心となったことから、前年同期比で減収となりました。

以上の結果、不動産関連事業の売上高は2,762百万円（前年同期比10.3%減）となりましたが、不動産賃貸事業においてテナントの入替が減少しコストが低下したことから営業利益は459百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明**①資産負債及び純資産の状況****（資産の部）**

資産合計は、前年度末と比べて66百万円減少し、23,917百万円となりました。これは、現金及び預金が274百万円増加しましたが、有価証券が200百万円減少したこと、販売用不動産が234百万円減少したこと等によるものです。

（負債の部）

負債合計は、前年度末と比べて1,000百万円増加し、11,437百万円となりました。これは、有利子負債が954百万円増加したこと等によるものです。

（純資産の部）

純資産合計は、前年度末と比べて1,067百万円減少し、12,479百万円となりました。これは、利益剰余金が886百万円減少したこと等によるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）は、前年度末より63百万円増加し3,821百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、支出した資金は265百万円（前年同期比288百万円減）となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失が784百万円、減価償却費が195百万円、たな卸資産の減少額が205百万円、仕入債務の減少額が194百万円になったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、支出した資金は506百万円（前年同期比282百万円増）となりました。この主な要因は、連結の範囲の変更を伴う株式取得による支出431百万円があったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、得られた資金は718百万円（前年同期比956百万円増）となりました。この主な要因は、長期借入による収入が1,370百万円となったこと、長期借入金の返済による支出が537百万円となったこと、自己株式の取得による支出が159百万円となったこと等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想につきましては、引き続き未定としております。新型コロナウイルス感染症について、冬場の再拡大が懸念されており未だ収束時期を見通せない状況にあること等から、合理的に見積もることが困難と判断したためです。今後、算定が可能となった時点で速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,783,651	4,057,925
受取手形及び売掛金	466,185	406,543
有価証券	200,000	—
商品	209,370	241,176
販売用不動産	1,281,706	1,047,445
貯蔵品	23,230	20,900
その他	597,757	641,619
貸倒引当金	△486	△305
流動資産合計	6,561,415	6,415,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,552,477	4,502,097
機械装置及び運搬具（純額）	32,874	36,017
工具、器具及び備品（純額）	254,960	242,476
土地	9,977,189	9,977,617
リース資産（純額）	58,843	48,184
有形固定資産合計	14,876,345	14,806,393
無形固定資産		
借地権	34,237	34,237
ソフトウェア	55,153	48,780
のれん	—	175,545
その他	3,776	3,995
無形固定資産合計	93,167	262,559
投資その他の資産		
投資有価証券	1,684,345	1,658,833
長期貸付金	440	280
差入保証金	411,508	407,636
繰延税金資産	238,950	233,873
その他	208,410	213,355
貸倒引当金	△90,085	△80,462
投資その他の資産合計	2,453,569	2,433,516
固定資産合計	17,423,082	17,502,469
資産合計	23,984,497	23,917,776

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	829,758	662,580
短期借入金	40,000	180,000
1年内返済予定の長期借入金	1,017,044	1,218,497
リース債務	35,957	36,100
未払金	379,229	1,666,277
未払法人税等	49,719	61,496
前受金	168,551	133,171
賞与引当金	174,820	163,363
その他	399,665	700,260
流動負債合計	3,094,746	4,821,746
固定負債		
社債	380,000	380,000
長期借入金	2,714,926	3,345,945
リース債務	57,633	39,521
長期未払金	1,157,800	1,500
長期預り保証金	826,405	582,273
繰延税金負債	310,117	327,835
再評価に係る繰延税金負債	850,717	850,717
退職給付に係る負債	923,653	956,922
資産除去債務	121,192	131,511
固定負債合計	7,342,445	6,616,226
負債合計	10,437,191	11,437,972
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,552,640	4,552,640
資本剰余金	3,737,647	3,737,647
利益剰余金	4,064,938	3,178,768
自己株式	△553,136	△712,889
株主資本合計	11,802,089	10,756,167
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,307	△41,134
土地再評価差額金	1,737,910	1,737,910
その他の包括利益累計額合計	1,745,217	1,696,775
非支配株主持分	—	26,860
純資産合計	13,547,306	12,479,803
負債純資産合計	23,984,497	23,917,776

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	8,782,935	5,538,565
売上原価	6,290,498	4,509,063
売上総利益	2,492,437	1,029,502
販売費及び一般管理費		
役員報酬	105,429	117,738
広告宣伝費	32,994	12,919
人件費	1,203,255	1,055,307
賞与引当金繰入額	127,910	98,798
退職給付費用	34,777	32,353
賃借料	174,034	164,556
水道光熱費	112,991	79,176
その他	469,499	452,392
販売費及び一般管理費合計	2,260,892	2,013,242
営業利益又は営業損失(△)	231,544	△983,740
営業外収益		
受取利息	139	27
受取配当金	48,419	32,051
助成金収入	—	190,314
貸倒引当金戻入額	13,286	9,804
その他	3,397	12,803
営業外収益合計	65,242	245,000
営業外費用		
支払利息	18,465	16,948
借入関連費用	520	12,264
その他	893	10,416
営業外費用合計	19,879	39,629
経常利益又は経常損失(△)	276,907	△778,369
特別損失		
固定資産除却損	2,636	215
減損損失	2,590	6,354
特別損失合計	5,227	6,569
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	271,680	△784,939
法人税、住民税及び事業税	61,529	9,710
法人税等調整額	△5,247	15,376
法人税等合計	56,281	25,087
四半期純利益又は四半期純損失(△)	215,399	△810,026
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△500
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	215,399	△809,525

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	215,399	△810,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,235	△48,442
その他の包括利益合計	8,235	△48,442
四半期包括利益	223,634	△858,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	223,634	△857,967
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△500

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	271,680	△784,939
減価償却費	203,914	195,458
減損損失	2,590	6,354
のれん償却額	—	9,239
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13,280	△9,804
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,871	△20,661
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	18,980	33,268
受取利息	△139	△27
受取配当金	△48,419	△32,051
支払利息	18,465	16,948
固定資産除却損	2,636	215
商品評価損	4,638	1,014
たな卸資産の増減額(△は増加)	△580,808	205,374
売上債権の増減額(△は増加)	33,071	117,175
仕入債務の増減額(△は減少)	△364,529	△194,504
その他の資産の増減額(△は増加)	△83,527	15,358
その他の負債の増減額(△は減少)	9,366	158,796
小計	△517,488	△282,784
利息及び配当金の受取額	48,558	32,078
利息の支払額	△18,964	△17,548
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△66,085	3,139
営業活動によるキャッシュ・フロー	△553,980	△265,115
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	693	693
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△431,036
有形固定資産の取得による支出	△182,789	△68,655
有形固定資産の解体による支出	△3,554	—
無形固定資産の取得による支出	△18,243	△1,380
資産除去債務の履行による支出	△1,739	—
定期預金の預入による支出	△15,599	△10,600
その他の収入	1,140	13,997
その他の支出	△4,345	△9,940
投資活動によるキャッシュ・フロー	△224,439	△506,920
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△5,000	140,000
長期借入れによる収入	410,000	1,370,000
長期借入金の返済による支出	△549,320	△537,528
リース債務の返済による支出	△17,235	△17,968
自己株式の取得による支出	—	△159,752
配当金の支払額	△75,883	△75,861
財務活動によるキャッシュ・フロー	△237,439	718,890
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,015,859	△53,146
現金及び現金同等物の期首残高	3,938,032	3,757,651
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	116,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,922,172	3,821,325

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。